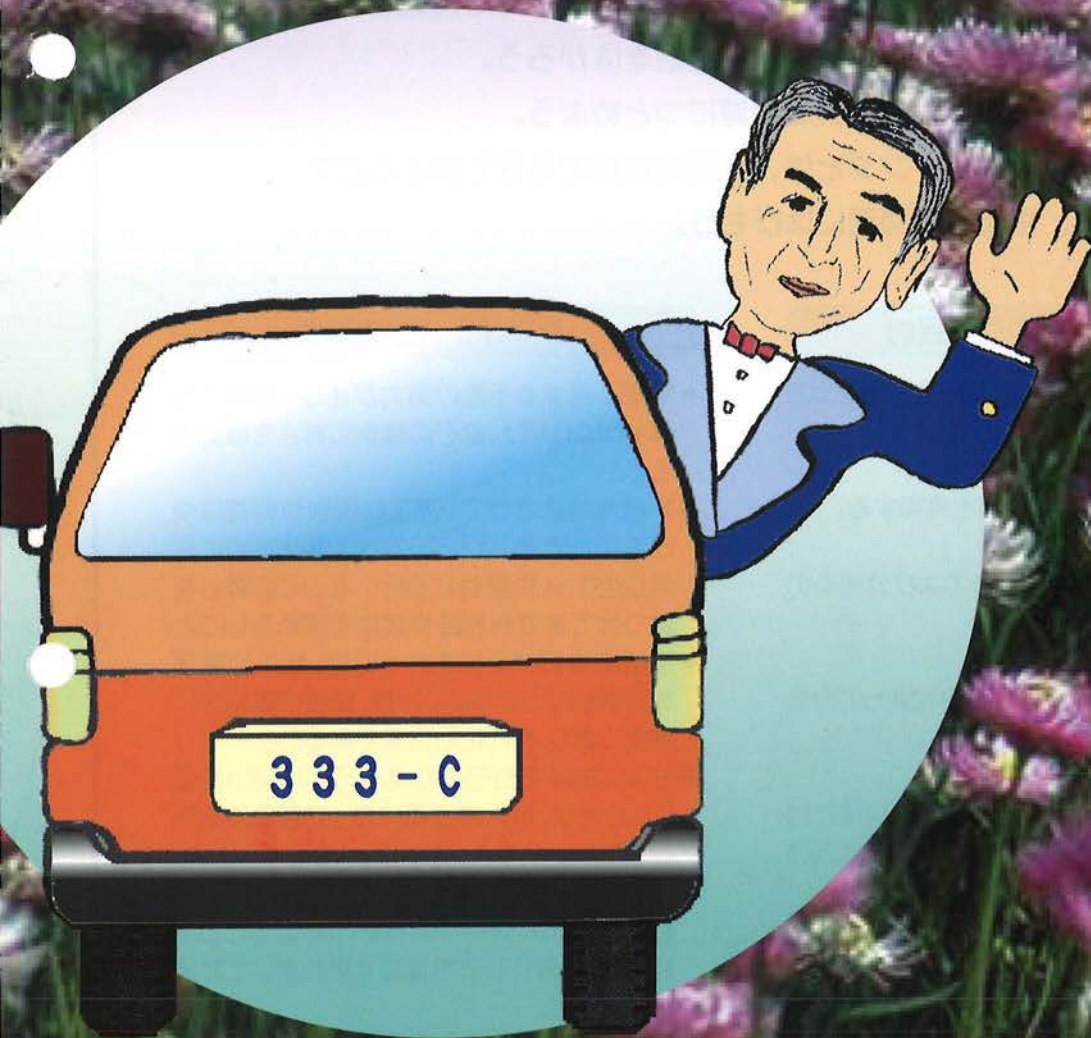


～夢とロマンのトキメキ奉仕 次代へ継ごうL字の誇り～

夢の宅配便



第3号

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区ニュース



333-C地区 ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、
その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、
ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、
ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげもう。

ライオンズクラブの目的

- 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確認すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。



**「夢とロマンのトキメキ奉仕
次代へ継ごうL字の誇り」
2000年～2001年**

ライオンズクラブ国際協会333-C地区
木下 務ガバナーの実践

目標 その1

トキメキ奉仕の展開を希う。
質の良い会員の扉を開けよう。

目標 その2

次代を担う若者に奉仕の美学を、誇りを。
質の良いリーダーの育成の扉を開けよう。

目標 その3

組織の簡素化で奉仕に爆発的なエネルギーを。
質の良いイメージの扉を開けよう。



“トキメキの新世紀

We serve 2001”

地区ガバナー L木下 務氏

曙光と暁風の中、輝かしき2001年悠揚の春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい世紀を迎えて、今、世界中でいろいろな未来像が語られていますが、わが国も希望の中にも多くの不安感を抱かさざるを得ない厳しい時代の到来に、戸惑いは隠せません。

昨年7月以来地区運営を担う立場から、地区内の多くのライオンとの折々の出会いの中で新しい気づきと学びがありました。また、各々特段のご理解とご協力により厳しい諸般の制約にも拘わらず、年度初頭に揚げました地区運営の「簡素化・合理化・省力化・活性化」への呼びかけに対して地道ながら着実に浸透して具現化された事実に対して、私は望外の成果と実感し、心から感謝申し上げます。

迅速な支援実施に感謝

いよいよ新世紀に入り、各クラブにおかれましても将来展望に立って果敢な行動実践が求められます。地区運営においても昨年の8月以降、頻発する国の内外の緊急災害に対して速やかな支援活動を実施すべく、各ライオンの強い要望に即応し近隣他地区との調整に先がけて当地区は三宅島噴火災害、東海地方豪雨被害、鳥取西部地震への義損金を実施し、併せて昨年度に引き続き大洪水で苦闘するカンボジアへの支援訪問に現地に代理者を派遣致すことが出来ました。

また、世界ライオンズデーに実施された「薬害乱用防止指導者養成講座」で受講した333名の方々が、それぞれの地域の中で学校訪問や、自治会との協力によるイベント参加により、青少年に直接呼びかける実相が県内外から高い評価を受けております。

下働きが光り輝いた弁論大会

去る1月19日、船橋市内の千葉県立薬園台高等学校文化ホールで行われた第20回千葉県高等学校弁論大会は、我が地区が単県独立して20周年の節目の大会でもあり、関係スタッフの創意と工夫と熱意溢れる準備へのひたむきな陰の努力が光りました。特に、この大会を担当した青少年指導委員会や内局スタッフによる会場の清掃や飾り付けなどの“下働き”に感謝します。



今回、初めて特設された千葉県知事賞・千葉県教育長賞をはじめ地区ガバナー賞の副賞として最優秀弁士に贈られた、Y E 海外研修40日間マレーシア派遣には高校生から高い関心が寄せられました。400人を数える満員の聴衆の中で、自分の考えを自分の言葉で堂々と弁論する、次代を担う高校生の真剣な取り組みはこの大会の歴史の重みと共に大きな感動を県内外に広く伝播されました。

会員増強に向けて更なる一步を

これらの活発な奉仕活動の展開の中でL E Oクラブのネパール訪問が実施されるなど青少年健全育成事業は着実に前進しておりますが、反面薄れる地域の人間関係が危惧されます。昨今の、会員の減少の事実は地区運営の簡素化・省力化を更に強く推し進めなければならないことを痛感します。

景気の回復軌道を希むものの少子高齢社会の到来で国家財政の先行きは、やはり不透明であり規範意識の低下に危機感を覚えます。これらの、社会の動向の中で私達ライオンズメンバーはわが国の歴史や伝統・文化を認識し、国家の個性や独自性を大切にして、世界と日本をどう認識するかが肝要と思う。ライオンズ活動を通して世界を認識しようと入会を決意されたメンバーも多い。私が掲げた会員増強という最重要課題が各クラブ間の熱意溢れる実践にも拘わらず苦闘している事実に対して心から労いと近づく年次大会に向けて視点を変えて、もう半歩、もう一步の更なるご努力をお願いしたい。

集ってそして楽しき大会を希う

「私達人間は自分以外の誰かの為に何かを始めなければ進歩しない」というライオンズクラブの創始者Lメルビン・ジョーンズのメッセージは私の好きな言葉です。

他を思いやる優しさと己を律する強さが求められる現代社会の中で、改めて“Quality key to Future……夢とロマンのトキメキ奉仕”の仲間作りにどうかお力をお与え下さい。

緑萌え春爛漫の中を、集ってそして楽しい

“トキメキの新世紀 We serve 2001”

の輝きのある、眩しい地区年次大会4月30日に各クラブメンバーはお誘い合わせの上、奮って参加されんことを……。

誇り高きライオンズ。あなた自身の、ライオンズライフの集大成の日であらんことを希い乍ら……。

国際会長がL木下地区ガバナーを激励!!

去る2月17日、国際会長公式訪問で仙台市内を訪れたLジャンペール会長は、久しぶりにわが333-C地区ガバナーL木下務と再会し、ガッチリと握手を交わした。

会員の中で国際会長はクラブのエクステンションや会員増強については地区内の各委員長に対

して専門的に訓練を施して欲しいと要望された。セミナーは三年を一区切りとして機能し、個々のセミナーが地区フォーラムに先立ち三年毎に組織されることになる。



ライオンズクラブ国際協会330. 331. 332. 333複合地区合同
ジャンペール国際会長公式訪問

『変化に対して転換の必要を認めよう』

また国際会長は地区ガバナーの現況報告に目を通し乍ら習慣的に選択し、計画し、実行してきた奉仕活動の方法について勇気を以って変化を受けいれるようにと要望された。この中で国際会長は最近の世界情勢に照らして、社会の要請や与えられた状況変化の中で「行動の方向を転換す



再会を祝う

る必要を認めることこそ、質の高い指導力の必須条件である」と強調された。

新世紀を迎えた今、国際協会が世界の指導者としての役割を維持し強化してゆくためには調整と修正が必要であることを改めて強く認識した。

(文責 地区キャビネット幹事 L小西 宗仁)

2001. 2. 18 記

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州 ブレインリー市 副市長 Lテッド・ウィルソン歓迎会



2001年2月21日19時30分、千葉市東横インホテルにオーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州ブレインリー市Lテッド・ウィルソン他ブレインリー市ロータリークラブ Terry Blair氏一行20名が来訪。テッド・ウィルソン氏は45歳にて地区ガバナーを経験、現在65歳にてブレインリー市副市長をされており、今回日本のライオンズのメンバーとの交流を計りたいとのことにて

急拠L木下地区ガバナー、L後藤副地区ガバナー他を交え交流会を行いました。

世界各国のライオンズメンバーの老齢化が目立っている昨今、オーストラリアも其の例にもれないとのことようです。今後の課題に、若いメンバーの育成が特に必要ではないかと強調されていたよう。当333-C地区に於ては若干ではあるがメンバーの増と、そしてクラブの誕生を見ることが出来た。L木下ガバナーの独特なユーモアの連発で大いに盛り上がり、時間の経過を忘れさすようでした。又、地区YE委員が2名おり、この機会に貴ブレインリーとのスペシャルにて、YE生の交流を計ろうとのL木下ガバナーの話にLテッド・ウィルソンも合意をされていました。大変疲れているようであったがビールが特に美味しいと言って居り、22時40分散会と成りました。



尚、L後藤副地区ガバナーの流暢な英語にて、より一層の会の盛り上がりが出来ましたことを申し添えて簡単ですが報告させて戴きます。

地区YE副委員長 L大谷 昇

シアヌーク国王に水害救援米を贈呈

地区ガバナーの特命により前地区ガバナーL岡野正義がカンボジアへ

昨年9月下旬、日本ではオリンピックの報道一色の頃、カンボジア王国は異常気象により、大洪水に見舞われて居た。

現地のプノンペンオーバイコーンLCからの救援要請を受け、早速LCIFから緊急援助金5千ドルを頂き、またスポンサークラブの千葉、千葉ポート、船橋ポートの3クラブ等の支援金



も加えて、米穀40トンを北部地区から買い付け、11月17日、3クラブの代表3名が出席してプノンペン市長へ救援米の贈呈を行った。

続いて333-C地区内会員の方々から、会員一人当たり300円以上の義援金150万円が拠出され、現地クラブに米45トンの買い付けを依頼した。

今回は水害に喘ぐ極貧世帯へ救援をされて居られる国王のルートで贈呈することとなり、1月16日、L木下ガバナーの代理として、地元LCの役員4名と共に白バイに先導されて宮殿に到着、正面玄関でシアヌーク国王のお出迎えを頂き、宮殿の間で暫く歓談する。



国王は当地区の小学校建設などの活動を良くご存じで「千葉県のLCのカンボジアでの活動には心から感謝して居ります、これからもどうか宜しくお願い申し上げます、と皆様にお伝え下さい」とご丁寧な感謝のお言葉を頂く。

ガバナーへの記念品を頂いた後、宮殿前の庭に降り、贈呈のために運びこまれたトラック5台に積まれた米穀45トンを、国王は、こんなに沢山と気配りを見せながら丁寧にご覧になる。

お盆に載せた米を国王に贈呈する儀式が行われ、また庭には赤く長い絨毯が敷かれ国王の難民救済活動のパネルが陳列されて居た。

なお、王宮での出会いの場面から、終始カメラマンとテレビ局が撮影して居り、ニュースはカンボジア全土に流れた。

頻発する国内外の災害援助支援活動について

国内災害支援

三宅島噴火による災害援助をはじめ、東海地方豪雨被害・鳥取西部地震災害をはじめカンボジア大洪水被害への援助活動は地区内全クラブの暖かきご理解とご協力により次の通り実施されました。なお、被災者から感謝の声や礼状が届いておりますことを申し添えます。また、近時発生した広島県愛媛県の震災に対して、地区内外から緊急援助活動が開始されました。

MD333ガバナー協議会で決定した事項を実施

C地区 三宅島へ 180万円 (100万円 (12/11/21) 80万円 (13/1/10))

東海地方へ 100万円 (12/11/21)

鳥取西部へ 100万円 (13/1/10)

緊急災害発生の為、昨年10月17日に開かれた緊急災害援助資金が急遽200万円を拠出し、取り急ぎ三宅島及び東海地方（名古屋）へそれぞれ100万円を支援金として納付しましたが、地区ガバナー公式訪問時の各R・各Zのご支援と各クラブメンバー1人の拠出金が1月10日現在、金3,865,096円となり、去る1月22日東京都三宅島三宅村教育委員会に地区ガバナーより寄贈致しました。



快挙!!

受講資格者数は日本一

地区薬物乱用防止推進委員長 **L 森 俊彦**

前期2000年10月8日 333名の教育講師の認定証を授与させる事が出来ました。

千葉日報を始めとするメディアに333-C地区の薬物乱用防止の活動ぶりを報道してもらう事が出来た。

後期2001年3月14日 各単一クラブ毎の小中高校への講師派遣を御願いし、地域毎に於けるLions活動の意義を広めてもらう事

例1 船橋北LC (333-C地区4R-2Z) 主催で市民が多数参加。

船橋市立御滝中学校内に於いて600名の子供、PTA、地域のボランティアの方々を集め、AM10:00~PM1:00 薬害防止キャンペーンが展開された。

以上の成果と実績が示すように、当地区の薬物乱用防止推進教育講師認定証を受理したライオンズクラブメンバー及び一般市民の方々の数は、330-A地区の東京を抜いて、わが333-C地区が日本一となり、地区内外から高い評価を受けております。

力強いご支援に対して責任者として心から感謝いたします。

平成13年 ガバナー近況報告



沼田 武 前千葉県知事とL木下 務 地区ガバナー
L小西 地区幹事他

2000～2001年度の333-C地区を担う、木下地区ガバナーは、沼田武前千葉県知事を表敬訪問した。

沼田知事から「青少年指導に力を入れておられ感謝します」との激励の言葉を頂戴しました。

船橋市から地区ガバナーが誕生したことを藤代市長は大変喜ばれ、L木下地区ガバナーへ「景況感の乏しい今こそ、奉仕は意義深い」と労いの言葉をかけられました。



藤代 孝七 船橋市長とL木下 務 地区ガバナー

低年齢層の犯罪の原因は「家庭ですね。地域ぐるみでホットな環境をライオンズクラブの方が作って下さい」と県警幹部から要望された。



植草 勝 千葉県警総務部長とL木下 務 地区ガバナー

「社会福祉活動は重要な県の施策です。ライオンズの活動には高い評価を期待しております。」と佐藤部長が語られ感激する木下地区ガバナー。



佐藤 喜美子 千葉県健康福祉部長と
L木下 務 地区ガバナー 他



「離見の見」

—華麗な寂寥感の中で—

一時の散る身で 梅の座論かな (仁恕)

キャビネット幹事 L 小西 宗仁

芝居の幕が下りる時の、あの残心にも似た感覚が私は好きだ。幕の下りる瞬間、役者と観客との中で同時にシリアス（厳粛な、重大な、真面目に）な寂寥感（淋しくて物静か）^{セキリョウカン}を覚える。観客と役者——舞台とが一体となって構成される芝居の奥義が深いことを実感する。

美術や文学、歴史の世界では、その作品や資料が残ってさえいれば、これが何十年後になっても鑑賞したり、想起することが可能でもある。ライオンズ・クラブの活動実績も、クラブ内で記録保存するなり、記念誌等で紐解くことも出来る……が、芝居はいわば瞬時に花開き、花散るようなもの。その時、その場面を観た人でなければ分からない。まして一瞬一瞬の役者の動きや、場面展開の妙味ということになればなお更であろう。芝居の一場面、舞台のワンシーンの一つ一つを思うにつき、この一回限りの、この一瞬限りの冷酷なまでの厳しさに圧倒される。

熱き想いと冷めた目を

この一瞬の出会いがすばらしいものであれば、芝居の幕が下りても観客の心に永遠に刻まれる。そこには打ち震えるほど芝居の重さと舞台の余韻に陶醉する。

いい舞台、人の心に永遠に去来し、折に触れ心に残るもの……いふなれば夢とトキメキを人の心を与えることは至難のワザであり芸の深さが求められよう。時に役者は自分の得意な演目や、好きな役柄ともなれば乗りに乗って、その役になり切って、その役柄と自分が正に一心同体となるものの、私の父が親交のあった先々代 中村時蔵丈のお話によれば、そういう時こそ案外、観客の反応は鈍く、満足な拍手を受けないといわれた。この言葉から痛感することは、芝居とは観客と役者が創り出す世界だと実感する。即ち世阿弥の説いた『離見の見』である。

我見は捨てよう

役者が意識する世界は『我見』であり、一人夢中に演じてても観客の心に訴える力もなければ感動も伝播しない。

客と同心となり、あらゆる面から自分の姿を把握出来るもう一つの心の目を持たなければ舞台は構成されない。客の目や心を充分意識して役を演じ乍らも、自分の中にもう一つの冷めた目を持つことこそ肝要である。



歌舞伎 二人挽久の舞台

相互のアイディア交換を

恒例の年次大会が近づいた。集まり散じて、年々人は変われど、この大会の持つ意義は大きいと思う。各地から集まる会員は、大会の諸行事を楽しむと共に、会員間の親睦の輪が広がる。Lジャン・

パール国際会長は、一堂に集い、相互にアイディアを交換し、知己を深め合う中で、私達のモットーとする「ウィ・サーブ」の献身の志を新たなものにしようと提起され、参加メンバーは世界最大の奉仕団体の一員として、奉仕の世界に邁進するライオンズの立場を再確認するまたとない機会であると説かれた。

冷静にプロトコルの実践を

今、当地区内もし木下地区ガバナーを先頭に地区年次大会委員会を軸に、その準備に奔走している。毎年繰り返えされるこの光景を見るたびに思うことは、当事者は四方八方に心くばりしながら舞台の構築に汗して、参加者メンバーの一人一人に、たとえ一瞬でも感動や感佩を伝えることを希う。このことは至難な事は過去の多くの大会が教えている。しかし主催者である以上「賓主互換」に心して、国際的儀礼であるプロトコル、迎え付けに全神経を配る厳しさが不可欠である。いつも参加者はそれを希っているが、迎え付けるべき主催者が興奮して、ただ徒らに会場内を徘徊している姿が目につく。

迎え付けの心を以って

お客を迎え付けし、送り出す所作こそプロトコルの本義だと思う。一期一会のあとに会者定離の厳しさを強く認識し、華麗な舞台の中で、あえて寂寥感を覚える位の「離見の見」が求められる。

人を招くことの難しさ、厳しさを身につけずして年次大会の成功はあり得ない。景況感の乏しい今こそ、夢とロマンのトキメキの出会いを大切に「離見の見」の実践の場となることを希っている。

◎『露地へ入るより出るまで、一期に一度の会のように亭主を敬い畏るべし』……茶人 山上宗二記より

(仁恕)



歌舞伎 道成寺の舞台

パラグアイ旅行報告

6L・PR情報委員 L原 正史

333-C地区、L木下努ガバナーより親書を託されパラグアイ・アスンシオンのガバナーとアスンシオンのライオンズクラブ、ジョン・F・ケネディとの交流に6R・リゾンチェアマン、楠岡徹ライオンを団長として6Rの方々と2月4日から2月16日迄南米パラグアイを中心に日本のライオンズクラブとして友好親善の交流の為訪問致しました。

パラグアイには戦後数次にも至り日本からの移民を行っており、その二世、三世が活躍しております。パラグアイは国土が日本の1.1倍あり主にスペイン、イタリア、ドイツの移住者と原住民とそれらの移住者の混血の人々によって成り立ってます。再選禁止の任期5年の大統領制の共和国で人口は500万人、広大なパンパス地帯がありブラジル、アルゼンチンの国境には世界最大の有名なイグアスの滝があります。

滝はブラジル側から見ましたが見た途端驚嘆致します。「何だこれは！」この世の世界ではない想像を絶する表現出来ない見事な滝です。熱帯雨林ではじめて出来るものと思います。行くまでの道路はブラジル政府が長い道路を独占して全ての車を降りブラジル政府の専用2階バスで行きます。

パラグアイは一面に続く大豆畑がある人口の少ない農業国であります。日本人移住者は現在7700人、数ヶ所の日本人コロニーに集団で農業に従事して主に大豆を栽培しておりほぼ農業に成功しており、彼ら日本人移住のひたむきな努力の結果、日本人の評価と信用は非常に高く、2人のドイツ系の若者が10年前、横浜国立大学に留学した時、通学の地下鉄の中や東京、横浜の市街に全くゴミはなく清潔で通行人がゴミを拾って片付けており清潔で勤勉な民族に非常に感動して帰国後、首都アスンシオンの中心地に日本政府の許しを受けて「日本」と名称を借用する許可を受けて日本学校を設立しました。(現在1050名の生徒)

以来、10年でこの私立学校の人気は非常に高く、ハイクラスの子弟が入学に集中しており、授業料が他の学校より非常に高いにも拘わらず入学に子供が集中して大変な人気で、校舎の壁には数十本の日本国旗がはためき、親善に訪れた私達8人の日本人に校長は優れた日本人の資質を熱く説いて、学校教育の方針は全く日本人と同じ人間を育てること、既に10年を経過して大学が必要になり敷地内に大学の校舎を建設中でありました。約200人の教師とごく最近採用した唯一の日本人の若い教師が私達を迎えて歓迎の歌を歌ってくれ私も感動して熱い涙がこぼれました。

校長が学んだ10年前と今は少し事情も異なって17才の殺人や成人式の暴力や恥ずかしい事件が続いておりますが、日本人に対する評価は異状に高く信用度抜群であります。ブラジルやアルゼンチンの白人社会には根強い人種差別があり日本人を蔑視しておりますがパラグアイには全くありません。

今回の旅行は前回の「夢の宅急便」で紹介致しました八街ライオンズの高嶋五月雌ライオンに大変お世話になり高嶋ライオンがあってはじめて実現したものであります。

高嶋ライオンは昭和32年パラグアイに北海道より一家8人で農業移民として移住し、苦労を重ねて成功され奥様の実家のある八街に帰ってパラグアイの物産を日本に紹介する事業を拡げており、今度パラグアイのコンセプシオン市郊外に大きな工場を建設する計画を立て、コンセプシオン市に既に日本の中古の消防車を寄贈しており大変な歓迎ぶりでした。

日本人にはないすごいパワーを持ってエネルギーに行動する方で戦後の昭和30年代、40年代には日本にもこの様なパワーのある人が活躍しておりましたが、今は日本人は疲れているようで元気がなくなっている様な気が致します。

平成13年2月21日

21世紀への挑戦

木下カバナー運営方針にもとずく IT革命による合理化への対応



インターネット委員会 委員長 L 植村 力子

21世紀にふさわしく333-C地区もインターネットを開設する運びとなりました。インターネットは時間、空間を越えたコミュニケーション革命を実現しようとしています。と、同時に情報伝達と意志決定のスピード化をグローバルにもたらすこととなります。インターネット発信によって地域間のハンディをなくし情報伝達のスピードアップ

をもたらし、個々のLCの特色、提供する内容（付加価値は何か）について深く考える重要な契機となります。そして、又変わらないことが何かを考えますとはるかに多いことにも気づきます。{本質の重要性} {人との付き合い} など…活用の方法は私たち一人ひとりが考え、合理性を伴った新しいLCの活動を作り上げようではありませんか。

アンケートの発信から多くのLがITに関心を持ち、必要性を考えておられることが証明でき、委員会の発足も意義あるものと確信いたしました。そして今、インターネット委員会の初仕事として地区会員名簿作成のお手伝いをはじめました。更に4月30日地区年次大会にはホームページの立ち上げを準備中です。どうぞご期待下さい。

ネパール旅行報告



富津LC 地区YE L 石井三郎

わが333C-地区レオクラブメンバー一行24名と現地ポカラレオクラブは瞬時にしてトキメキの出会いが実現。共に唱い共に踊り歓喜した。

ポカラ、レオクラブとの交歓風景

光り輝く"下働き"ライオン

地区青少年指導・国際協調交流委員会 L 近藤 幸治

若者に背中であげた裏舞台

地区運営の中で今年ほど“下働きスタッフ”の光り輝く年を私は知らない。世界ライオンズデーに挙行された薬物乱用防止推進指導者養成講座をはじめ、先頃実施された、第20回千葉県高等学校弁論大会も予想以上の申込や受講者があり、400名を越す聴衆者が来場した。全ては地区カバナーの指導力とは云え、やはり担当したスタッフの献身的な下働きがあればこそ快挙である。催事を通して痛感することは、質の良い計画や企画が打ち出されても、一人でも多くのメンバーに広く伝播し説明し理解してもらうことが肝要。企画した催事も会場が閑散とした状態では情けない。

私は弁論大会の責任者として大会に参加した高校生弁士諸君に訴えた。『今、君達が自分の考えを自分の言葉で立派に弁論出来たのは、あなただけの力ではありません。指導して下さった先生や支えてくれた仲間、更にこの晴れの舞台の構成に、連日に亘り清掃やセッティング、飾り付けなど裏舞台に汗してくれたライオンズメンバーや、弁論に耳をかたむけてくれた聴衆の方々の存在を忘れてはいけません。支えてくれた皆さんに感謝し、次は自分以外の誰かの為に自分自身が汗する下働きを実行して下さい』……と。

特に今回から千葉県知事賞・千葉県教育長賞・千葉日報社賞が設けられたほか、最優秀賞に輝いた千葉女子高等学校2年の池田瑞穂さんにL木下地区ガバナーからYE生として海外研修40日間派遣の特別賞が贈られた。弁士は県内からノミネートされた13名が登壇し、自分の考えを自分の言葉で堂々と弁論し、早朝から駆けつけた約400名の聴衆から盛んな拍手が送られました。



若者、レオと共に

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区 LEO委員長 L有若 茂

ライオンズクラブもファミリーである時が最も楽しく幸せなひと時ではないでしょうか。

レオやライオネスと交じってライオンズが野外パーティ、或いは奉仕のボランティア活動を共にしている光景、それは一幅の好ましい絵です。



レオ地区5周年記念クリスマスパーティ

この一年、海水浴も出来たサマーキャンプ、レオ顧問宅の庭先での近所の親子まで加えたバーベキューや餅つき、したたる緑の山や沢をたどった磐梯トレッキング、複合のA地区B地区や関西からも駆け付けてくれたレオ地区結成五周年記念クリスマスパーティ、ヒマラヤのふもとポカラでのライオンズやその家族も一緒にレオ海外交流、そして白雪に心身を解放できた春期スキー研修……これら地区行事を核としながら、333-Cのレオクラブは大きく育ったものと感じております。

未だに小さいと言えれば小さく、弱いと言えれば弱いのですが、この五年の一步一步が来年、再来



ポカラレオクラブと交流

年へとつながり、インターネットなど普段の交流を発展させながら、多くのリーダーを生み出すライオンズの宝になっていってくれることを夢見ます。

まさに新世紀は彼等の時代です。

(2001・3・14記)



スクラップ and ビルド

1R RC L. 大久保 博

最近のマンスリーレポート集計表を見ると、20名を割り込んだクラブの数が20となりました。かうじてエクステンションによる増加で大幅な減少は免れているものの、会員の減少傾向には歯止めがかからないようです。

わが1Rにおいては、この半期で5名減という状況ですが、幸いエクステンションの予定があり、期末にはプラスで引き継げるものと期待をしております。

冷静に退会原因の分析をしてみると、経済的理由ばかりではないことに気付きます。

とくに人間関係の悪化による退会はクラブにとって大きな損失であり、残留したメンバーにも反省すべき点や課題が重くのしかかることと思います。

今後はエクステンションと並行して、メンバー数の少ないクラブの統合もCABの指導アイテムに加えたらいかがでしょうか？ 企業もスクラップ and ビルドで既成事実や既得権を破壊している時代ですから、LCも組織そのものの再構築を余儀なくされるのではないのでしょうか。カリスマ的指導者が待望されます。



前期を振り返って

2R RC L. 石井 恵雄

昨年5月の新キャビネット役員研修会に於いて、ガバナー（キャビネット）より経費削減のご指導があり、かねてより我々のリジョンにても、数年前より刷新委員会にての最重要議題であった経費削減問題を実施に移すこと、新ZCと協議の末、三役交代会の席上、今まで聖域とされて来たR費Z費及祝金制度の全廃を提唱した。当初は種々のご批判や物議も耳に入ったが、半期を

過ぎて、定着したようである。依って他のリジョンに於いても、我がリジョン同様に同一步調をとってくれたのは心強い限りであった。更に押し進めて入会金や年間のトータル会費の値下げ等にこと有るごとに説き、入会金を半分、クラブによっては、ゼロにするところさえあり、又20%以上の会費の値下げに成功したところもあり、一部会員より感謝の言葉を頂いたのは嬉しい限りであった。従来よりの八方美人的な金銭バラマキ奉仕から、LC本来の姿である汗を流す奉仕への移行が目立って来たのも、これらの成果の表われか。しかし反面会員増強が3、4のクラブを除き、かってリーダー的な存在であったクラブがメンバーの大幅なる減少を見るのは誠に残念なことであるが、昨今の社会状況化の中、各個人の経済的負担の軽減処置は近いうちに必ずや、その効果が表われるものと期待している。折り返し点を過ぎた今、期日をきらず任期一杯、ガバナーの三大指針に努めるところである。



成果と今後の活動

3R RC L. 植村 力子

●2000年12月までアクティビティ集計

	金 銭	労 力	会 員 数	例会出席率
地区平均「1人当たり」	34,612円	17時間	33人	89%
3リジョン	52,560円	25時間	40人	98%

スタートからR費、Z費の廃止。各クラブの協力により入会金、年会費の見直しを実施することが出来た。

退会者が多い中無理をせず運営費のスリム化をはかり入会者の門戸を広げてあげる為にも前進の第一歩は喜ばしいことである。今後は下記のライオンズ憲章の認識を高めたい。

ライオンズ憲章

- ・単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう
- ・奉仕の根源は愛であることを確認し心をこめて精進しよう
- ・友情によって相互理解と強固な団結をはかろう

・組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう

・グッドスタンディングとは積極的参加の意欲であることを理解し指導力の開発にはげよう

今柏ライオンズクラブが35周年記念事業として素晴らしいクラブのエクステンションの準備中である。他の模範となるよう新時代にふさわしいクラブの立ち上げに心から応援していきたい。



和を以て退会防止を

4R RC L. 高橋 章

折り返し点に到達し、過去半年間を振り返ってみると多くの反省点はあるにしても大過なく過すことができたのは優秀な3名のZC、16クラブの会長、会員一人一人の協力の賜物と感謝致しております。各クラブを訪問して、それぞれのクラブの運営の在り方に違いがあることに個性を感じた。個人ではできないことを、ウイサーブをモットーに各クラブが地域に密着した継続的ACT、新しい事業を展開している。青少年育成、緑化推進、献血、YE生受け入れ派遣、献眼、献腎、地域住民との交流、地域の清掃などを含む数多くの労力奉仕活動。又、青少年野球、サッカー、マラソン大会等の支援など実に多種、多様であり独創性に富んでいる。ACT資金調達事業もチャリティ、ゴルフ大会、ボーリング大会、ダンスパーティー、等各クラブが実施している。16クラブの年度当初計画達成については困難を感じていないし計画通り進展している。

ただ、会員増強に関しては、当初目的達成は困難と思われる。当4Rは、ライオンズクラブ16、レオクラブ1、ライオネスクラブ1があり前期末会員総数は518名、レオクラブ、ライオネスクラブは変化なし、12月末現在501名で17名の減少となっている。木下ガバナーは、3つの目標を掲げられました。その一つに組織の簡素化と運営の効率化を提起され、これについては着実に実践されております。奉仕活動の中にも夢と喜びと、ロマン、そして反省がなくてはならないと思います。下期に向け、会員増強が難しい今、在籍会員の退会防止を最大の責務とし、長期に亘る欠席者や休眠会員が多く見られる今日、退会止むなしの傾向を放置せず和を以って退会防止を訴え、諦めることなく出会いを楽しみに会員増強に努力したい。



経過報告と 今後の予定について

5R RC L. 小 山 一 路

1. 現時点での終了事項：

A. 諮問委員会への出席

全ゾーン（1～3）で行われた2回の諮問委員会へ全て出席し、ZCを補助しガバナー方針及びキャビネット会議での決定・報告事項を説明・伝達。

B. 新入会員への研修

* 10月10日(火) 市原グリーンLC 於：市原Youホール

出席者：前地区ガバナー L 岡野正義、3Z・ZC L 両川邦男、
スポンサークラブより L 庄司辰二郎、他5名

* 10月21日(土) 千葉花見川LC 於：花見川オランダ家

出席者：5R・PR委員 L 吉村英伸、スポンサークラブより L 富永恭忠

この2クラブは結成されたばかりでしたので、例会日を研修会として振り替えメンバー全員出席のもと、歴史・組織と構成・義務・用語・ACT等について自作の資料を中心にライオン誌・ライオンズ必携等を使用し開催。

C. R内クラブ訪問について

現在3Z（6LC）のクラブ訪問は全て終了し、2Zに入っています。

2. 今後の予定事項

A. 新入会員研修会について

現在3Zの10数名を始めとしてかなりの新入会員が見込まれて居りますので、3月下旬頃に開催を予定して居ります。

B. 諮問委員会への出席

今後も全ての会に参加し、ZCを補助しキャビネット方針及び決定事項の正確な伝達に努める。

C. R内クラブ訪問

3月末迄にR内全てのクラブ訪問を終了する予定。

会員増強、年次大会・国際大会への参加要請、地域に密着したACTの充実等を促すと共に、クラブ運営の簡素化等についても助言・相談に対処出来るよう資料等を用意し訪問する。

D. 次年度役員へのスムーズなバトンタッチ

まだかなり先の事ですが、ZCと共にこの1年間の体験をまとめながら次期の方々にスムーズに繋げるよう資料の作成にも留意する。

以上、経過及び今後の予定についてご報告致します。



行動実践で道を拓く

6R RC L. 桶岡 巖

21世紀の幕が開け、本格的なグローバル時代を迎えました。

インターネットが瞬時に世界を結び、地球規模の草の根の交流が益々広がり、あらゆる分野で国際的視野にたった取り組みが必要であります。

そこでキャビネット指導により各クラブの活性化をはかる勉強会を開いてはどうだろう。

次代を担う青少年の育成、1月20日船橋市内薬円台高校で開かれた、高校生による弁論大会、去年までは50人ぐらいの集りでしたが今年は一般の人達も含め400名余りが集まり、今迄にない盛り上りを見せた。優勝者にはマレーシアに42日間の無料招待が木下務ガバナーから贈られた。来年からは3名ぐらい招待したい、費用は入賞した地域のクラブで半分ぐらい見てあげる方法もあるでしょう。

麻薬、覚せい剤乱用防止教育講師認定証を県下のクラブ員で450名もの人が認定証を持っている。今の時期小中学校へ出向いて薬物乱用防止教室を13年度の学校行事に組み込んでもらう呼び掛けが必要です。

会員増強、各クラブ共元気を出すために、奉仕の仲間を増やす方法として、入会金を小額にする、入会式を行うマニュアルを作って、心にのこるすばらしい儀式にしてあげたい。

ライオン必携、ライオンキャップ、ネームプレート、ジャケット用ライオンマーク、ライオン名刺台、用語の達人、新入会員キット・ザ・ライオン誌のファイル等贈る、クラブによって色々ですが、まず話しよりも行動に移しましょう。必ず道は拓られます。クラブ活動に参加の意欲を盛り上げるために、他クラブの例会に3名以上で出席して勉強することをおすすめします。



愛をこめて日々精進

7R RC L. 仲村 敏治

私の担当するリジョンにおきましては各クラブとも金銭ACT、労力ACTも順調に進行しております。

また、例会等の出席率を見ましても、積極的な状況に推移しており、喜ばしい限りでございます。

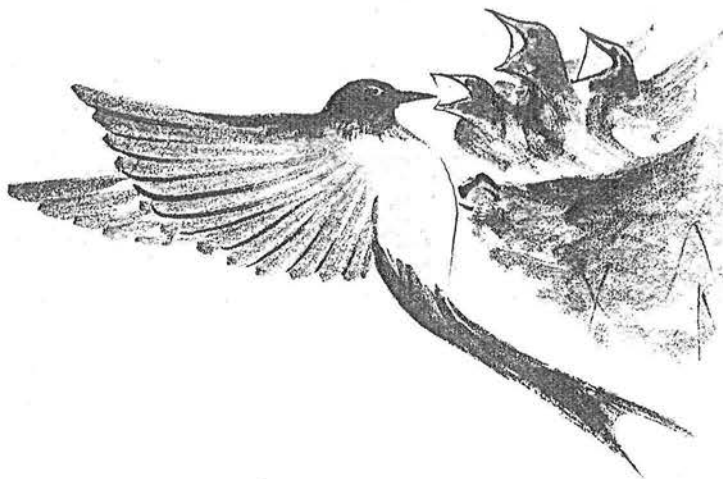
リジョンチェアマンという、大変なお役目をお引受けして半年、当初は本年度ガバナー方針に沿って、あれやこれや考える最高の計画を立てたものの、その実行については、果してどうなのかと不安でしたが、多くの皆様の温かい友情に支えられつつ、どうやら支障なくここまで進めることが出来ました。

活動の中身を見ますと、特筆すべきは継続事業として、各クラブとも献血の重要性に深い理解を示し、地道ながら息の長い活動を続けております。

次ぎに会員の増強につきましては、ガバナー方針である質の高い会員の確保を根本に、各ゾーンが一生懸命努力してはおりますが、成果は目に見えるところまでは、行っておりません。これからの半期は、会員増強を至上命題として、より一層の働きを続けて行きたいと考えております。

また、LCIF1000ドル献金につきましても、各ゾーンの意識を更に高めつつ、達成に全力を上げて行く所存でございます。

残された半期を、已年にあやかって、粘り強くかつダイナミックに活動したいと念じております。なお一層のご支援をお願い致します。





会員増強で有終の美を

8R RC L. 梅津潤二

●経過

スタート時点で「次期構成員研修会、第1回キャビネット会議」に於て、地区ガバナー L 木下の方針を私なりに9項目に集約し、それを第1回ガバナー諮問委員会そして各クラブ訪問で伝播に努めました。

①会員増強（退会防止共） ②青少年健全育成（精神面の強調） ③組織の簡素化（小事からでも） ④薬害防止 ⑤LCIFの推進 ⑥JC会員&OBとの交流推進（会員増強） ⑦ライオンバッヂ着用推進（PRと自己啓発） ⑧各大会参加推進 ⑨奉仕の原点（時代の変革の対応とマンネリ化）の9目標であります。

8Rは1Z2Z合同の諮問委員会で、各クラブ訪問もZCと地区役員計7人で行動を共にした。第2回ガバナー諮問委員会では、新会員及び会員（3役）の研修会を講師に名誉顧問 L 杉浦 明、キャビネット幹事 L 小西宗仁にお願いし、3役研修会の趣旨は「奉仕の原点」を主題にしました。私自身も「目から鱗」の感で、両セミナー共好評を戴き各Lの活動に寄与されたと確信しています。

●200日経過して

各クラブとも年度計画は、ほぼ計画どおり真摯に実施されていますが誠に残念ながら①の会員増強のみが捗々しくないのが現実で有ります。

●後半に向かって

「有終の美」会員増強の件に付ましては、複数の会長より見込みの状況を口頭で伺っていますので後半を期待してます。この様な状況のなか朗報が一つ、EXTが進んでいることです、予定として2月に結成式、6月にCNを目標に鋭意努力の最中で有ります。少し欲目の9目標を掲げましたが、EXTの成功で8Rの有終の美としたい。



順調な運営に感謝

9R RC L. 渡 邊 廣 行

9R・10クラブでは、前半を年間計画どおり順調な運営の推進を致しました。

会員増強

当Rは、年度当初に「会員数の減少阻止」を最重点施策として、10クラブにお願い致しましたが、12月末現在新入会員21名、退会12名死亡1名、純増8名の2.3%増です。特に8名のクラブ（鋸南）が3名増の11名になり、また、R全体で女性会員が3名増加した事が大きなACTでした。仕上げの後半各クラブとも年間計画どおり、5%増をクリアーするため努力致します。

青少年健全育成

主に継続ACTですが、すべてのクラブとも青少年のスポーツ大会を柱とし、その他薬物乱用防止教育指導・小学生将棋大会・少年少女合唱団支援等前半の計画を終了し、残る年間計画は残さず実施致します。

献血量の拡大

前半すべてのクラブが実施し、253,000ccの成果でした。後半も、赤十字血液センター、市・町の献血推進協議会と連絡を密にし、事前PRを推進し、主催・共催による献血量の拡大に努めます。

環境保全

祝日「海の日」の海岸清掃・「世界ライオンズ奉仕デー」の各種労力ACTを各クラブとも実施致しました。後半も植樹の季節に入りますし、毎年実施している植樹後の手入れ・県下一斉の「ゴミゼロ運動」等今後も引き続き実施致します。

残る6ヶ月、9R一体となり努力致しますので、CAB役員のご指導をお願い致します。

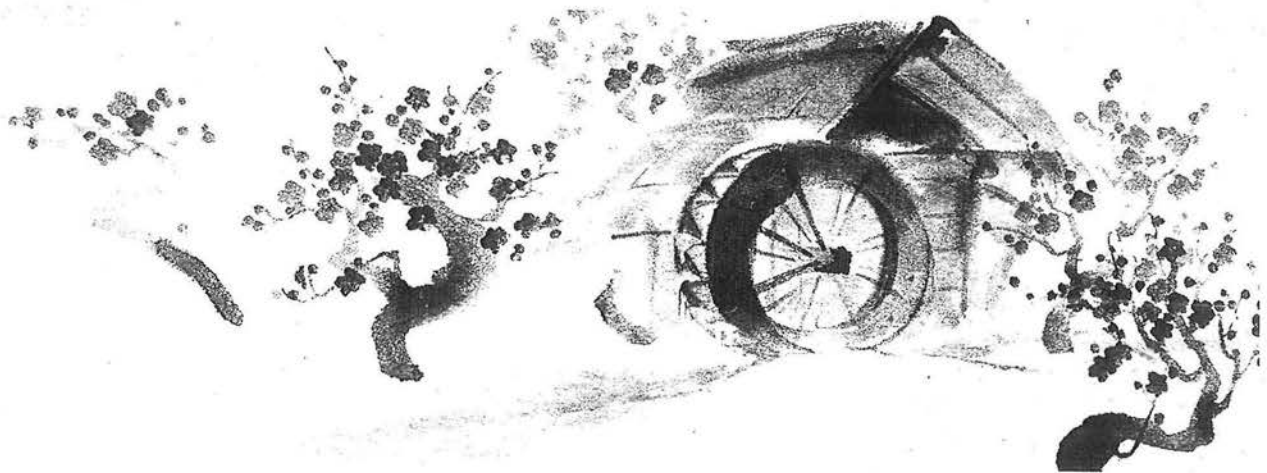


資金難で 各クラブにジレンマ

10R RC L. 真行寺 昭

RCに就任してから半分終わった。振り返ってみると指導的な役割りは余りしていない様な気がする。各クラブの現状をみると特に目新しい事業はやっていない様子で、今迄やっていた事業の継続で目一杯の様だ。

地域的に人口が減少し尚かつ保守的な市町村が多い中で、会員増強はままならずむしろ退会者の歯止めに精一杯のクラブが圧倒的に多い。会員が増えないから資金的にも楽ではない、仲々思い切った事業も計画できない、そのうち周年行事が来てしまうと云った状況が続いてきている。20名前後のメンバーで活動しているクラブが多い10Rとしては大きな悩みとなっている。クラブの統廃合問題を視野に今後この様な問題を解決する為にも地区ガバナーが中心となり事業の見直しを計り、なるべく経費負担を軽減する様頑張っていたきたい。景況感が乏しいとは云え、勝手な事を言って申し訳ないが宜しく頼みます。



平成12年度 日本リハビリテーション心理学会
心理リハビリテーションの会
第26回全国大会（千葉大会）



テーマ

「温故知新（古きをたずねて新しきを知る）」

平成12年12月9日（土：障害者の日）、10日（日）

幕張メッセ国際会議場で行われた。

.....

地区アクティビティ資金による障害者と高齢者のための心理リハビリテーションの会、第26回全国大会（平成12年度千葉県大会）への支援金譲渡式

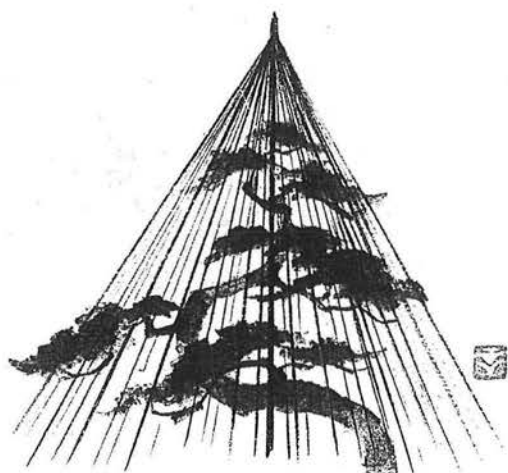
◆ 2000年12月3日（日）午前10時

◆ 勝田台ロイヤルグランドホテルにて

.....



（文責 L 鎌田 明 副幹事 習志野LC）



1R 1Z 市川ライオンズクラブ

地域へのPRのための周年行事

市川LC結成40周年記念 盲導犬支援チャリティ募金コンサート

千葉県最初のLCとして1961年2月に産声をあげた市川LCでは、周年ごとに結成日を祝う「集い」を開催してきたが、最近のLCを取り巻く状況を考え、40周年では周年行事を単なる組織内部での祝い事としてではなく「地域へのPRのためのイベントと位置づけよう」ということになった。

そこでテーマを「盲導犬繁殖犬贈呈のための募金」、出し物を「ワイルドワンズ&白鳥英美子さんのジョイントコンサート」としたところ、2月4日日曜日当日1700名の参加を得、コンサート終了後会場出口でボーイスカウトと合同で実施した募金活動では170万円を超える募金が寄せられた。そこへ昨年来の募金活動で獲得した約20万円とクラブの事業費を合計して300万円を(財)日本盲導犬協会に贈った。

式典はクラブの活動をPRする10分間のビデオレター上映のみ。チャリティーも出演者から募金活動について呼びかけを行うのみとした。また、記念事業は実際いくつも行ったが、「参加者にわかりやすく」ということで盲導犬募金に絞り、自信のPRだけでなく市内の5つのLCを対等に紹介したり、失語症友の会等の方々を多数ご招待したり、コンサート時間を開演から退場まででトータル2時間以内とするなどの工夫も試みた。

特記事項としては、1RのL大久保博RCにはPR方法に関していろいろご指導いただき大きな成果を挙げることが出来た。心より感謝申し上げたい。

最後に会場出口でお見送りに立ったメンバーが、参加された方々のこぼれんばかりの笑顔に「本当にいいことをした」という手応えを感じられたことも収穫だった。



市川LC 第40代会長 L生田邦彦
実行委員長 L畝本昌介



2R 1Z

松戸ユーカリライオンズクラブ

ユーカリLCが結成15周年 記念式典開催、事業計画を発表

新松戸を本拠とする松戸ユーカリLCが結成15周年を迎え、10月21日、関係者を迎えて記念式典を開催、当日の祝賀イベントや各事業計画を公表した。

当日のイベントの目玉は「氷彫刻技術競技大会」で、都内近郊の主要ホテルから32名が参加、氷とは裏腹に熱い戦いを繰り広げ、幸田在住の根本一夫さん（ヒルトン東京ベイ）ら4名が入賞した。

新松戸駅前に来春完成のブロンズ像「希望」建立や50年後に開封予定のタイムカプセル計画なども合わせて披露された。



↑ブロンズ像彫刻担当の本田悦久さん(左)とユーカリLC会長の須藤邦夫さん



溶けるのがホントに惜しい氷の芸術作品ばかりがずらり



.....一言ご挨拶を申し上げます.....

本日は、何かとご多忙の中、関係各位多数ご来臨を仰ぎ、クラブを代表して厚くお礼申し上げます。私共、松戸ユーカリライオンズクラブは1985年、松戸ライオンズクラブをスポンサーとして発足以来、本日を以って15周年を迎える事が出来ました。この間、高度成長の経済状況の時代から、今日の低迷する社会状況の厳しい、しかも先行き不安の多い時代と、実に混乱の15年で御座いました。しかしながら、この様な状況下にありましてもクラブを維持運営して参ることができましたのもこれひとえに、スポンサーであります、松戸ライオンズクラブ、ブラザークラブの各位更

には、地域の皆様の格別なるご支援、ご理解の賜物で御座いました。

今、まさに二十一世紀を迎え様としています。日本のみならず世界の状況は刻々と変化し、IT革命が次の時代の流れを大きく変えようとしています。最先端技術や科学文化が前進を極める一方で精神文化が大きく欠如して、青少年の教育等にも大きな問題点を投げかけ、日常社会を混乱させている事もけして見逃すことが出来ません。二十一世紀の幕開けを明日に控え、ライオンズマンも全ての原点に立ちかえって、ライオンズクラブ本来のコンセプト全てを今一度見なおす必要があると感じているのは、私だけでしょうか？

我が、ユーカリライオンズクラブは、発足以来この十五年間ひたすらライオンズクラブの原点と対峙し向上心を失うことなく努力して参りましたが、本日、ここに御参席を賜った各位の激励を糧として更なる精進努力をいたす決意を申し上げてお礼のご挨拶と致します。

松戸ユーカリLC 会長 L須藤邦夫



4R 1Z
船橋ライオンズクラブ

夢とロマンのトキメキ奉仕 チャリティディナーショー

～蘇れ三宅島、立ち上がれ東海地方&鳥取西部～

船橋ライオンズクラブ（会長 L高松成一）主催のチャリティディナーショーが、1月22日（月曜日）に幕張のホテル・ザ・マンハッタンで行われ、火山噴火災害で不自由な生活を余儀なくされている三宅島の青少年を代表して出席戴いた、三宅島教育長に義援金の手渡されました。

船橋市内及び近郊の各LC、333-C地区の多くのLC、マイクロバスを仕立ててブラザークラブのチャリティに駆けつけてくれた土浦亀城LC、親クラブのチャリティならばと銚子から出席戴いた、銚子LC及び銚子中央LC、等々の各LCメンバーの方々、そしてチャリティに賛同してくれた多くの市民の方々ご協力有り難うございました。

木下ガバナー挨拶のあと、地区名誉顧問のL斉藤貞雄とL小泉昭の漫才にも似たウィ・サーブで宴は始まり、ショータイムは榊山りようとステインブル・メイツの軽快なジャズの演奏、ヴォーカルは井上良（早見優のお父さん）とお弟子さんの麻伊マドカ、最後に演奏されたドラム・ブギーで場内は歓喜の大拍手、懐かしい曲が心をウキウキさせお酒が足もとをフラフラさせてくれる楽しいディナーショーでした。

船橋LC 会長 L高松成一

大会実行委員長 L長 敏幸





4R 1Z
船橋ライオンズクラブ

第14回 船橋市中学生弁論大会

この大会は、船橋ライオンズクラブが青少年健全育成事業のアクティビティとして、過去13年間続けられてきた我がクラブ最大の行事である。

優勝者には船橋市長賞、船橋ライオンズクラブからは獅子吼杯、優勝副賞として適正年齢になった時点でYE生として、40日間の海外派遣があたえられる。そして今までに非常に優れた人材が育っている。

中学生の弁論を全て聞き終える度に、毎度の事ながら新たな感動と共に、出来ることならあの世代にもう一度戻ってみたいと感じる。

今年は11月18日（土曜日）に船橋市立葛飾中学校体育館で葛飾中学校生徒850余名多くのPTA、引率の教師等々、1000名近い観衆の中で、3時間半にわたって船橋市内27の公立中学校から選抜された29名の弁士達が一人4分間の持ち時間で熱弁を振るってくれた。

船橋LC 会長 L 高松成一





5R 1Z

千葉幕張メッセライオンズクラブ

Chiba
Marines Cup千葉マリーンズ杯
優勝カップ

第3回 千葉マリーンズ杯争奪選手権大会

「千葉マリーンズ杯争奪選手権大会」はスポーツで子供達の健全な心と体を育てたいという思いから、青少年スポーツ活動への支援・助成ACTとして千葉幕張メッセライオンズクラブ主催、千葉少年軟式野球協会主管のもと、1998年に第1回大会を開催、以来、千葉幕張メッセライオンズクラブの恒例ACTとなっている。

千葉市6区の千葉市少年軟式野球協会所属区連の選抜選手のチームによるトーナメント式大会。

プロ野球で使用されている憧れの千葉マリンスタージアムでプレーが出来るとあって、本大会は野球少年たちの目標になっている。

.....開催にあたって.....

ここに私ども千葉幕張メッセライオンズクラブが主催します、第3回千葉マリーンズ杯争奪選手権大会に、これほど大勢の野球少年が一同に会し、盛大に開催できることを大変嬉しく思います。

併せて私ども大会関係者が願うことは、スポーツを通じて、仲間同士の友情、助け合いの精神、感謝の気持ちを養っていただくことがもう一つの目標であります。本大会も是非そうあって欲しいと切に願うとともに、皆さんの健闘を心よりお祈りいたします。

千葉幕張メッセLC 会長 L伊藤 弘



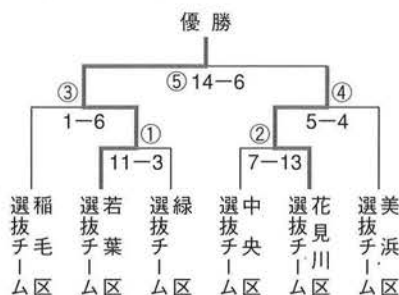
2000年11月25日(土)、26日(日)
会場：千葉マリンスタージアム

どのチームも本当にがんばったよ!! (^o^)/

当日は天候にも恵まれ、気持ちの良い空気の中、第3回大会が開催されました。

今回は点差の開きが大きい試合結果となりましたが、暗くなるまで試合は続き、どのチームもまさに大健闘でした。

優勝は若葉区選抜チームが2連破、準優勝は花見川区選被チーム、3位2チームは稲毛選抜チームと美浜区選抜チームという結果になりました。



第3回大会 ゲーム得点表

1 日 目	(1) 第1試合	若葉区 × 緑区
		11 - 3
	(2) 第2試合	中央区 × 花見川区
2 日 目		7 - 13
	(3) 準決勝戦	稲毛区 × 若葉区
		1 - 4
	(4) 準決勝戦	花見川区 × 美浜区
		5 - 4
	(5) 決勝戦	若葉区 × 花見川区
		14 - 6



5R 2Z

千葉若潮ライオンズクラブ

運転免許センター献血ルーム30万人記念式典

平成12年12月8日（金）運転免許センター献血ルーム30万人達成記念式典を行いました。

30万人目は加藤晃男（会社員）さん、前後は矢野義春さん佐々木和子さんへ若潮LC（大塚会長、豊田委員長）及び、日赤センターより記念品が贈呈されました。ちなみに加藤さんは84回目の献血でした。



7R 1Z
佐原ライオンズクラブ

青少年育成事業 1

佐原市小学校駅伝大会

30回を数える歴史ある本大会は、4800人の生徒を代表する15チーム90人の選手佐原市河川敷にて競い合いました。
1位、2位、3位（金、銀、銅）メダルを寄贈いたしました。



青少年育成事業 2

佐原市子ども会祭り

22回を迎える子ども祭り本年のスローガンは
なくそう「いじめ」、もとう「思いやり」とし、佐原市コミュニティーセンターへ大勢の子ども達が集合、関係者の作った焼きそば、とん汁他遊戯施設で食べて遊んで大喜びの一日でした。



佐原LC PR委員長 L高木石根



7R 1Z

銚子中央ライオンズクラブ

第2回 水辺のクリーン作戦実施

と き 平成12年11月5日午前10時～午後2時
ところ 銚子マリーナ、名洗港海岸清掃
参加者 会員38名、市役所6名、一般3名、レオ10名

当日は天候悪化の予報も、我が銚子中央ライオンズの奉仕の情熱で小春日和の快晴、絶好の労働奉仕となり、参加者一同海岸清掃に大いに奮闘しました。

郷土銚子は三方海に囲まれた景勝の観光地であり、しかも、銚子マリーナは銚子の顔として観光客にアピールするところでもあり、きれいな海岸にして観光客に喜んでいただこうと余計清掃に力が入り、良い汗をかきながら大ハッスルしました。

活動後マリーナの芝生の上でのバーベキューがおいしかったこと。大満足の日でした。

銚子中央LC 幹事 L高橋俊夫



7R 2Z
多古ライオンズクラブ

ライオンズ旗争奪近隣中学校駅伝大会

平成13年1月28日(日)、多古ライオンズクラブ・多古高校陸友会主催、多古高校・千葉日報社等後援の多古高陸友会杯・多古ライオンズ旗争奪第41回近隣中学校駅伝大会が開催された。

本大会は、山武、印旛、香取、海上、匝瑳郡市の広範囲の中学校陸上部が多数参加する駅伝大会で今年で41回を数える伝統ある大会。今年も23校がエントリーして、多古高校前をスタート、栗源町役場までの22キロ、7区間を県警の白バイ、パトカーに先導され沿道の住民から暖かい声援を受けながら激しいレースが展開された。

なお、この大会は、最初の1区を女子選手が走る珍しいレースで、女子が多古町内を一周後男子にたすきを渡すというもの。

前日の降雪で6校が棄権したが、レースは全国中学校駅伝大会準優勝の実力を有する小見川中学校が、2位八街中学校に2分弱の差をつけ大会6連覇を果たした。以下3位山田中、4位旭一中、5位銚子一中。

多古ライオンズクラブのメンバーはこの日全員が大会役員になり、開・閉会式の挙行、選手の誘導、中継地点の交通整理等、大会の運営に尽力した。

多古LC 会長 L富澤 賢



ライオンズクラブ会長の号砲でスタートする一区女子ランナー

7R 2Z
栗源ライオンズクラブ

保育園児と

「もちつき大会」で大はしゃぎ



「いよいよ。いよいよ」杵を振り下ろすたびに大声援がおこる。手拍子をとる児、足をならす児、飛び跳ねる児。歓声と笑顔が園庭いっぱいに広がっていた。

栗源ライオンズクラブ主催の栗源町保育園での「もちつき大会」が、2月16日午前9時より開催された。この催しは今年は既に13回目。保育園での年中行事としてすっかり定着。園児たち、さらにはお母さんたちを含めての関係者にとって最大のお楽しみ会である。もちろん会員にとっても、童心に返って思い切り笑える唯一のACT。特に今年は、ACTの重点項目として位置付けた青少年健全育成運動の一環として、特に力を結集させた。

風はやや冷たかったものの日差しいっぱい、絶好の日和。園庭のまん中にシートを敷きつめ、臼^{うす}を中心にして周りを園児が取り囲む。2才児から上の全クラス100名余。その賑やかさ、元気さに圧倒されながら会員たちの手で五臼を搗きあげた。最後の臼は、会員の介添えで園児たち2～3人が交代で杵を持ち上げる。杵の重さにたじろぎながらも1振り2振り。そのたびごとに起こる絶叫のような歓声と笑顔。みんな息を弾ませ、生き生きと輝いている。

餅米1斗分を、臼と杵で搗くのと並行して、機械搗きも行った。さらに2斗分は業者に依頼して小餅にして持ち込んでもらった。搗きたての餅はその場でお雑煮汁に、黄な粉餅に、大根おろしのから味餅に、さらに草餅はあんころ餅にと仕上げられていった。

皿盛りされた色とりどりの餅、野菜の入ったお汁餅。おかずも加わっての賑やかなテーブルが「おゆうぎ室」いっぱいに並べられ食事が始まった。会員たちも、にこやかなおじいさん、おじさん、おにいさんになって園児たちと談笑。園児たちの食欲旺盛に、おしゃべり好きにたじたじの態。くったくのない園児たちの笑顔はどこまでも明るく楽しい。

最後は、会長から園児代表に折り紙と風船の贈り物の手渡し式。小さな手の大きな拍手と「ライオンズのおじさん、ありがとう」の大合唱。正午すぎまでの楽しいACTでした。

栗源LC 会長 L北尾義昭



7R 3Z 旭ライオンズクラブ

チャリティバザーを開催

10月29日（日）、花と緑のフェスティバル2000in旭、併催の旭市産業祭りに於いて、今年度の主要行事の一つであります、チャリティバザーを開催致しました。財務委員長 L飯島恵喜が先頭に立ち、メンバーからたくさんの提供品を出品してもらい、またメンバーの花弁、米生産者からは、原価での販売品のご提供を頂きました。

当日は、冷たい雨の降りしきる中、大勢のお客様で大にぎわいをみせ、また多数のメンバーの参加により、設営や販売も順調にゆき、すべての品物が午前中で完売しました。

この収益金は、千葉県アイバンク協会、日本網膜色素変性症協会に寄贈致します。

また、同時に薬物乱用防止のパンフレットも配布し、啓蒙運動も行いました。



チャリティバザー収益金 141,200円

金銭ACT 50,000円

労力ACT 販売品回収 $4h \times 3名 \times 7日 = 84h$

販売品値付け $3h \times 5名 \times 1日 = 15h$

設営、販売(当日) $4h \times 42名 \times 1日 = 168h$

合 計 267h

第21回 旭市民マラソン大会の共催

大会名 平成12年度第21回旭市民マラソン大会

期 日 2000.11.19

会 場 旭スポーツの森公園・特設コース

参加人数 小・中・高・一般・親子レースの各部門と大会関係者 合計1500余名

大会当日は、秋風の吹く快晴で絶好のマラソン日和となり、招待選手『五木田佑美選手』（東京学館高等学校二年在学、インターハイ・日本ジュニア選手権100m、200m 優勝）も各レースに参加し、ともに心地良い汗を流した。

五木田選手は、地元旭市の出身で高校でも素晴らしい成績をおさめており、当日参加した子供たちやお父さん、お母さん達も、地元出身の将来有望な五木田選手と共に走り、想い出多い一日となった。

金銭ACT 205,000円

労力ACT $5h \times 23名 \times 1日 = 115h$



8R 1Z
木更津金鈴ライオンズクラブ

青少年健全育成 施設招待『お月見例会』

2000.9.23、恒例のお月見例会をあけぼの園、並びに野の花の家の皆さんを招待し、アカデミアパーク ホテルオークラに於いて行いました。

当日は県議会議員の渡辺二大様、木更津市福祉部長の都丸様、8R地区役員の皆様をご来賓としてお招きし、ネスクラブの皆様にはゲストとして参加いただきました。

ご来賓の方々の挨拶をいただいた後、8R-PR情報委員のL小林幸晴のウィサーブでいよいよ楽しいパーティーが始まりました。会場にはメンバーの皆さんが知恵と努力の賜とも思える立派な飾り付け、さらに手作りの竹製の輪投げ等お月見パーティーにふさわしいものが準備され、子供たちはホテルオークラのおいしい料理を食べながら輪投げゲーム、ビンゴゲーム等で大いに盛り上がっておりました。

ライオンズ活動をしている中で私たちメンバーがみんなで協力し、企画した奉仕活動に対し施設の子供たちがこんなにも喜んでくれる姿に接し、日頃の苦勞を忘れ楽しさと重要性をしみじみと感じました。終盤にちかづきメンバーが持ち寄って下さった品物をオークションで販売しました。その売あげ金をあけぼの園、野の花の家にそれぞれ贈呈いたしました。

あけぼの園の相馬所長並びに野の花の花崎園長先生のお礼の言葉の中で、『このような機会をもつことは、自分達だけではなかなか難しいので毎年この時期が来るのを子供たちは楽しみにしております。これからも木更津金鈴ライオンズクラブさんの活動に対して感謝しつつご期待申し上げます。』とありました。

この言葉を聞いたとき、益々皆さんに喜んで頂ける地域社会に密着した奉仕活動に邁進しようと決意を新たに致しました。

終わりに全員で手をつなぎ『またあう日まで』を歌い閉会いたしました。

木更津金鈴LC 社公福祉委員長
L佐波啓亘



L若林一会長のリードで余興も最高潮

8R 1Z

木更津金鈴ライオンズクラブ

青少年健全育成・芋掘りとハイキング招待

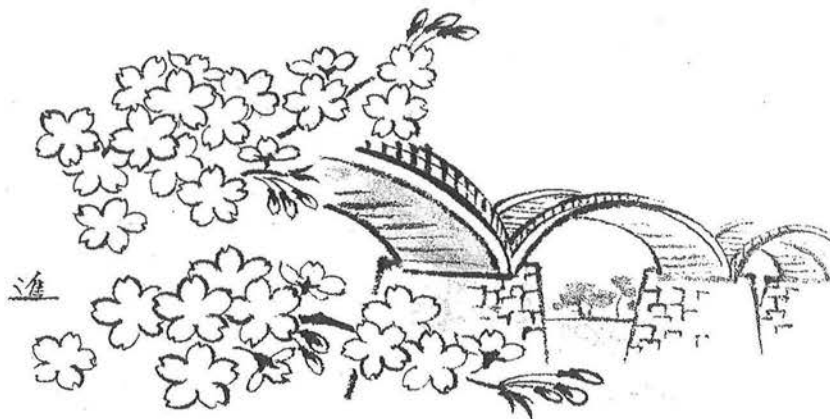
心配していた雨も上がり、当日は朝から素晴らしい秋空のもと芋掘り、及びハイキングを予定通り行うことが出来ました。今回は岩根保育園の親子さんと、梅井保育園より視察参加ということで招待、総勢49人。大型サロンバスで往復して戴き、芋掘りも大分広いので予定時間が伸びるのではないか……と心配していた処、またたく間に子供達のはしゃぐ声と共に掘り尽くし、一方高倉観音ではバーベキュー、焼そば、ハム、フランクフルト、飲み物等を用意し、子供達は2.5kmの道のりを3回程の休憩をしながらも急な坂道を登り切り、境内に到着し役員さんが作ったバーベキューや焼そばを食べ、ホット一息飲み物もあつと云う間になくなり、又、アトラクションでは糸引きゲーム長いひもの先に景品を取りつけ当てる方法、子供も大人も一緒に楽しい一日を過ごせました。



最後にクラブより、御土産を戴き子供達は大喜びでした。岩根又、梅井保育園の保育園の父母様より大変好評でした。

平成12年11月5日

市民教育委員会 L家所勝美



8R 1Z
木更津アクアライオンズクラブ

21世紀初のEXT



去る2月18日に木更津金鈴LCスポンサーにより8R-1Zに木更津アクアLCが5クラブ目として誕生致しました。木下ガバナーメッセージを小西地区幹事より発表頂いたのは、12月3日の第2回諮問委員会の席上でした。ガバナーの願いが木更津金鈴LC若林会長のライオンズ魂に響き、正木YE委員長の助言と梅津RCの指導により、R内各クラブの協力体制を構築し12月20日第一回EXT委員会、1月20日結成準備会を経一月半の短期間にて結成式に漕ぎ着けました。実に多くの会員の協力の賜物です。『事業運営のスリム化と知恵と汗を主とした心の奉仕を地域に展開する』を設立趣旨に賛同した23名の新クラブが33年振りに8Rに誕生致しました。波紋が静かに起きています。真の奉仕活動とは、クラブ間の交際の在り方、運営全般に亘り各クラブが真摯に見直し作業を始めるきっかけになった点も特筆に値致します。

8RPR情報委員 L小林幸晴



近く結成予定のクラブ紹介

- 柏みどりLC (2001年5月9日 結成予定)
- 行徳リバーサイドLC (2001年度以内に 結成予定)

9R 1Z

館山中央ライオンズクラブ

館山・三芳地区青少年剣道大会

館山中央LC主催、回を重ねて23回 !!

「日頃一生懸命練習したことを、今日はすべて出し切ってしまう存分に……」

主催者である館山中央ライオンズクラブの会長L安西竹蔵はじめ、来賓の方々がこう言って、会場となった館山市立三中の体育館に整列した320名の出場選手を励ました。

下は小学校2年から上は高校3年まで、姿勢を正し寒い館内に素足で、私語をする者もなく、じっと挨拶に聞き入っている。

日本古来の伝統文化たる武道が、技だけでなく、心身をよく鍛練することが、この小さな子供達のこの態度に良く現れていた。

当館山中央LCは、毎年この大会のためにチャリティーダンスパーティーを開催して、その収益金をこの大会の費用に当てている。回を重ねること23回、当初小学生だった選手が今は中堅審判員として、この大会をささえている。

試合開始に先立って行われた日本剣道形の演技は、打太刀中西安弘八段と仕太刀馬場公忠七段で行われ、その静と動の美しさと裂帛^{れつぱん}

の気合の凄さに、子供達のまん丸い目が釘づけにされ、身じろぎもせず見つめていた。



試合は高校生は団体戦、5校から男子は9チーム、女子は8チーム、小中学生は個人戦で予選リーグの各ブロックの1位がグループ別決勝トーナメントに進出して勝負する方法。

この日のために、当クラブは各学校への案内や審判員の依頼をはじめ賞品の準備など早くから活動を開始し、また、大会当日は受付、進行、賞状賞品、広報、救急、弁当、駐車等々、30名の各係ライオンの整然とした役割遂行により、今年も円滑に大会を終了することができた。



9R 1Z

鋸南ライオンズクラブ

～とっておきの良い話～

菱川師宣記念館に、見落としがちな 別趣の浮世絵があるのをご存知か？

安房国^{はた}保田（現安房郡鋸南町）は、日本が世界に誇る浮世絵創出の祖として有名な、菱川師宣の生誕地である。今は、観光ルートに入っているのですが、この地に建つ「菱川師宣記念館」（併設鋸南町歴史民族資料館）を知らない人はいない。館内には、装飾皿や日本酒の商標にまでなっている有名な「見返り美人」の肉筆画をはじめ、見返り美人絵と同じ紋様の着物や釈迦涅槃図、江戸の庶民を題材とした風俗画が展示され、見学者の目を引く。その他、歌川広重、豊国、国芳らの後輩浮世絵師の作品も並び、浮世絵から見た江戸の庶民風俗、文化を紹介している。訪れる人々は、皆正式にケース内に展示されたこれらの浮世

絵などに注目して見学を終わる様である。誰れも、受付カウンターの通路側に備えられた浮世絵下絵集（資料）を手にとって見ようとする者はいない。ここに、枕絵草子の嘗っての下絵が数多く残されているのである。現在ならいざ知らず、昔は婚礼の夜の床入りにまごつかぬ様、枕絵草子というものを備え、初体験の花嫁、花婿の役に立てたというあれである。中々よく出来ており、昔の江戸の若者達がこのようなものを見ながら、興奮し睦み合った様が彷彿と浮かんで来るような絵である。



9R 1Z

館山南ライオンズクラブ

台湾の姉妹クラブ松江獅子会と 世界遺産指定の日光市で合同例会

当クラブと姉妹提携している台湾ライオンズクラブ台北市松江獅子会は、1994年以来毎年台湾の会長交替式などの公式イベントで往来し、交流と友好を深め合ってきた間柄である。ところが、1999年次の例会は折角企画され実行するばかりとなった矢先の9月に、周知のとおりの大震災が台湾中部を襲い、合同例会も一時見合わせとなった。

もちろん、当クラブから義援金が送られ、被災小学校復興基金の一部に当てられたのであるが、今回の合同例会はその恩礼を伝える意味もあって、台湾側の熱意で、中断は僅か1年で再現されたものである。

来日した松江獅子会員及び家族11名と、当

クラブ員12名の一行は、2泊3日の日程で東照宮、江戸村、華嚴の滝、中禅寺湖などを巡回・見学し、日本の秋や文化を満喫することができた。また、例会の席上では、先の当クラブからの義援金に対する感謝状の伝達や、メンバーの紹介、プレゼントの交換など、和気あいあいのうちに親交を深め、松江獅子会メンバー一行は、深まり行く日本の秋に名残を惜しみつつ、名古屋空港から帰国の途に就いたが、思えば今回の合同例会旅行は、誠に意義深く、かつ、成果の多いものとなった。





9R 1Z
館山北ライオンズクラブ

南房総小学生将棋大会開催 毎年正月に、LC主催で第4回

“来たれ!! 全国ちびっ子将棋名人”

21世紀初の小学生名人は君だ!

これは、毎年正月に小学生将棋大会を主催している当クラブが、県内および県外主要小学校へ配布したポスターの冒頭のキャッチコピーである。今年で早4年、ポスター作りから始まって、会場設営や賞品の準備など、本来ならば屠蘇気分でのんびり過す筈の松の内だが、県外から意気込んでこの房総半島の先端の町館山市へやって来る、自称名人のちびっ子達の顔を思い浮かべると、正月気分などに浸っている訳にはいかない。

年々参加人数も増え、かつ、参加地域も遠くは三重県からと、年ごとに広くなり、正に全国大会の様相を呈して来ている。僅か、11名の小規模クラブ、全員で準備も当日の諸々の大会運営のすべでもこなすのであるから大忙し。1年生から3年生までの低学年の者も

23名含まれ、保護者同伴でない子供には特別に対応をし、面倒を見てやる必要がある。今年は、当日は天気は晴れだったが、北風が強く、寒さのきびしい一日となった。ちびっ子達68名は前日から館山入りして、定刻9時半には全員元気な姿を会場になった館山市コミュニティセンターに見せた。

このような地方での全国大会は珍しく、旅行を兼ねての出場者もあるが、いずれも腕に自信のある者ばかり、四段2名を最高に正式の段や級を持っている者が多い。午前中の予選に続いて午後からは優勝を掛けての決勝トーナメントに入り、腕を組み乍ら次の一手を考える様は大人さながら。兎に角、大成功の今年の大会であった。



9R 2Z
夷隅ライオンズクラブ

～とっておきの良い話～

名人“波の伊八”の代表作が

房総最古刹“東頭山行元寺”に

彫物師^{たけし い}武志伊八郎^{はちろうのぶよし}信由^{しんゆ}と言え、江戸時代の名人として知られ、左甚五郎にも比肩されるほどの人である。特に「波の伊八」と称され、当時波を彫らせたなら業界随一と言われた。関東一円は言うまでもなく、その名は遠く関西にも知られ、「関東へ行ったら波を彫るな」と言って恐れられたという。

その伊八郎信由の代表作が夷隅町萩原の行元寺にある。客殿の欄間に彫られた松に鶴、波に旭と鶴、波に宝子玉の五面である。

東頭山行元寺は、今より1153年前の嘉祥2年(849)慈覚大師円仁によって草創され、大師が唐から帰朝後、東国で最初に開山されたところから、東頭山と名付けられた関東屈指の古刹である。嘉祥2年と言え、遣唐僧最澄が帰国して天台宗を開宗し比叡山に延暦寺を

開いた時から、僅か43年後である。東国のはずれのこの上総の国の鄙辺の地に、よくも布教の本拠を置いたものと感銘を深くする。国宝阿弥陀如来立像をはじめ、鎌倉時代の秘宝^{れいぜい}善光寺三尊、龍鈴、法華曼荼羅、冷泉家遺宝などとともに、名人伊八郎信由の名作が訪れる人々を感嘆させて止まない。行元寺は、いくたびか戦火に遭いながらも、そのたびに復興され、天正14年以降は現在地に威容を誇るに至り、江戸幕府より10万石の処遇を受け、上総・安房に末寺96か寺を有する大寺院として、関東天台の中核学問寺及び祈願寺となって今日に至っている。なお、伊八郎信由の作品は、房総一円のみならず、東京・神奈川までに亘って残っており、5代の中では40点余りと一番多く確認されているという。



慎んで冥福をお祈り申し上げます

物故ライオン御芳名

2000. 7. 3 ~ 2001. 2. 25

年 月 日	御 芳 名	所属ライオンズクラブ	R ・ Z
2000年 7 月 3 日	L. 古 川 博 之	市 川 北	1 R ・ 1 Z
7 月 6 日	L. 高 岡 恒 雄	成 田	6 R ・ 1 Z
7 月 13 日	L. 井 上 二 三 男	柏 オ ー ク	3 R ・ 2 Z
7 月 14 日	L. 菅 谷 光 一	山 田 町	7 R ・ 3 Z
7 月 15 日	L. 伊 藤 欽 一 郎	成 田	6 R ・ 1 Z
8 月 4 日	L. 藤 田 賢 治	佐 原	7 R ・ 1 Z
8 月 12 日	L. 林 利 宏	船 橋 中 央	4 R ・ 1 Z
8 月 14 日	L. 川 島 弘	館 山 南	9 R ・ 1 Z
8 月 24 日	L. 吉 田 稔	東 庄	7 R ・ 1 Z
8 月 29 日	L. 高 根 郁 朗	旭	7 R ・ 3 Z
9 月 1 日	L. 柳 原 吉 男	東 金	10 R ・ 2 Z
9 月 7 日	L. 坪 井 寅 吉	四 街 道	6 R ・ 2 Z
9 月 26 日	L. 森 義 一	船 橋 中 央	4 R ・ 1 Z
10 月 1 日	L. 渡 辺 誠 之	市 川	1 R ・ 1 Z
10 月 5 日	L. 進 藤 良 隆	柏 中 央	3 R ・ 2 Z
10 月 12 日	L. 関 重 雄	佐 原	7 R ・ 1 Z
10 月 16 日	L. 栗 橋 昭 夫	銚 子 中 央	7 R ・ 1 Z
10 月 16 日	L. 阿 多 工	船 橋 東	4 R ・ 2 Z
10 月 18 日	L. 野 口 甫	佐 倉	6 R ・ 2 Z
10 月 20 日	L. 藤 澤 孝 行	千 葉	5 R ・ 1 Z
11 月 11 日	L. 小 見 教	佐 倉	6 R ・ 2 Z
12 月 4 日	L. 平 川 孝 男	印 西	3 R ・ 1 Z
12 月 19 日	L. 青 野 虎 二	東 庄	7 R ・ 1 Z
12 月 29 日	L. 高 田 緑 朗	柏	3 R ・ 1 Z
2001年 1 月 1 日	L. 石 田 重 善	神 崎	7 R ・ 1 Z
1 月 4 日	L. 高 木 孝	四 街 道	6 R ・ 2 Z
1 月 16 日	L. 一 鍬 田 隆 夫	富 里	6 R ・ 1 Z
2 月 8 日	L. 寺 門 利 之	銚 子 中 央	7 R ・ 1 Z
2 月 25 日	L. 井 手 勝 弘	旭	7 R ・ 3 Z

◇ 編集後記 ◇

20世紀から21世紀にかけて記念すべき年に地区ニュースの編集委員の大役を仰せつかり緊張の中なれない作業に汗しております。

2001年は【ボランティア国際年】である。新しい世紀の始まりにふさわしいと思う。

福祉活動やボランティアは、新しいことのように誤解されていますが、長い歴史と伝統がある。聖徳太子の時代には身寄りがない孤児の施設や貧しい病人のため施設を建立をしていたといわれています、まさにボランティアの始まりではなかったかとおもいます。行基は49の寺を建立したとされているが、その多くに福祉施設があった。橋や灌漑池も多数つくった。行基を指導者に、ころある民衆が寺を建て、池を掘り橋をかけた、まさにボランティアである。

【無財の七施】(しちせ)という言葉がありますが、お金がなくても七つも良いことができる。

- 眼施(げんせ) 優しいまなざし、
- 顔施(がんせ) 柔和な顔、
- 言施(ごんせ) 親切な言葉、
- 身施(しんせ) 身体を使つて、
- 心施(しんせ) 優しい心、
- 座施(ざせ) 席を譲る、
- 宿施(しゆくせ) 家に入れ友になる、

無財の七施の実行で、他人は喜び本人も幸せになれる。

政治も経済も暗い昨今ではありますが、身近なところでボランティア活動ができるライオンズクラブに今席をおいてる自分に幸せを感じている。



地区編集委員 L 渥美 雅康

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区ニュース

夢の宅配便 No. 3

発行日 ● 2001年3月31日

発行人 ● 地区ガバナー 木下 務

編集人 ● 地区PR・情報委員長 初谷 昌彦

編集長 ● 實川 洋一

編集 ● 渥美 雅康・長澤 賢一

発行所 ● ライオンズクラブ国際協会333-C地区

キャビネット事務局

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-55 シーオービル6F

TEL.043-243-2528 FAX.043-247-4756

印刷所 ● 株式会社 東都印刷 TEL.047-463-8413

